



こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

♥ホームページ URL <http://www.oikawahp.net> ♥Eメール address info@oikawahp.net

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

No. 34 2015年2月 発行

基本理念

及川病院のめざすこと、その役割と大切なこと

親切

私たちは親切な対応とわかりやすい説明を心がけ、患者様の身になって行動しています。

信頼

私たちは患者様の一日も早い回復、社会復帰を願い、信頼され心の通い合う医療に努めています。

専門

私たちは、乳癌医療及び緩和医療を担う専門病院として、専門的な知識や技術を集結したチーム医療を実践します。

進歩

私たちは常に新しい医療とそれを取り巻く環境を学び、より優れた医療の提供を目指し進歩し続けます。

明けましておめでとうございます。平成27年、新しい年のスタートです。目標や到達点はあるか先にあることはわかっている、いろいろな区切りをつけながらではないと進んで行けないのが人間です。ですから「新年を迎える新たな気持ち」を持ち続けていきたいと思っています。今年介護報酬改定の年です。健康保険が医療保険と介護保険に分かれて果たして私たちの生活や老後は安心できるものになったのでしょうか？少子高齢化社会は確かに現実のもので、それをどう社会で支えていくかも私たちが真剣に考えなければならないものではないでしょうか。少子とはともかく、高齢化は医療・化学の進歩により進むことは必然的ともいえます。「医療」の中に身を置いている私たちには、国が考える対応の方向性は「診療報酬改定」というかたちで示されるのですが、それは入院を抑え在宅へと向かっています。日本の古の家族観では「3世代同居の家族」が当たり前で、医療はその手助けだったでしょう。しかし、医療の進歩とともに長寿社会となり、一方家族も時代とともに様変わりしてきました。家族の変わり方が「支えあう」方向ではなかったことが、今日の問題を起している一因であるように思います。だとすれば、単に診療報酬という医療向けのルール変更だけで、本当に高齢化に対応できるのでしょうか？日本人そのものの在り方が変わってきたとすれば、「保険」だけでどうのこうのできるとは思えないのですが、しかし、私たちの前には医療を求めて多くの方がおみえになります。今年も最良の医療の提供、常にその実現に取り組んでまいります。



乳がん検診無料クーポン券をお持ちの方へ

乳がん検診は受診されましたか？

がん検診無料クーポン券の有効期限は2014年7月1日から2015年3月31日です。（有効期限はお住まいの市区町村によって異なります。お手元のクーポン券に記入されてある期限をご確認下さい。）

■乳がん検診無料クーポン券対象者

- (1) 40歳の市民 昭和48年4月2日~昭和49年4月1日生まれ
- (2) 平成21年度~24年度に福岡市が実施する乳がん検診を受診したことがない下記の人

42歳~45歳	昭和43(1968)年4月2日~昭和47(1972)年4月1日
47歳~50歳	昭和38(1963)年4月2日~昭和42(1967)年4月1日
52歳~55歳	昭和33(1958)年4月2日~昭和37(1962)年4月1日
57歳~60歳	昭和28(1953)年4月2日~昭和32(1957)年4月1日

【受診予約が混み合う恐れがありますのでお早目の予約をお勧めします】

※当院の診察は原則予約制となっております。お電話にてご予約を承ります。

(ご予約電話受付時間午前9時~午後6時 TEL: 092-522-5411)

当院のリンパ浮腫ケア外来スタッフである看護師の田上と理学療法士の今村がウィッグリング・ジャパン主催のセミナーで『リンパ浮腫とは何か、リンパ浮腫のQ&A』についてお話をさせていただきました。



患者様やご家族様がカフェに集まり、お茶を飲みながら気楽に聞ける会ですが皆さん熱心に聞いてくださり、最後には皆でリンパ体操などをして、和やかな雰囲気の中で終了しました。



緩和ケアだより

緩和ケア病棟では、12月は2週にわたりクリスマスイベントが行われました。

まずは12月13日。
ムーゼンクランツ少年少女合唱団による素敵な歌声。
患者様、ご家族の皆様が集まり、子供たちの歌声のベールに包まれ穏やかな時間を過ごされました。
最後には手作りの壁飾りのプレゼントも頂きました。

12月20日は病棟主催の恒例のクリスマス会。ボランティアの方々の歌声のプレゼントや稲光医師扮するサンタクロースからのプレゼント。大きな袋から何が出てくるのか皆、興味津々・・・。暖かいブランケットを手にされると、嬉しそうに頬をすり寄せられていました。患者様の笑顔で、スタッフのこころも十分暖かくなったひとときでした。



2015年初釜

2015年。新年初めのお茶を楽しむ「初釜」が1月10日に行われました。厳かな雰囲気にながらも、清らかで穏やかな気持ちになれる日本の文化に触れ、「日本人に生まれてよかった」と再認識できた日となりました。



祝日診療のお知らせ

3月21日（土・祝）
乳腺外来診療いたします

平日お忙しい方、ご利用ください
 無料クーポンの方もこの機会に



母の日乳がん検診応援キャンペーン

ひとりでは生きにくい検診でも、誰かと一緒なら…
 そう思っている方へ、今年も母の日乳がん検診応援
 キャンペーンを実施します。

期間中に2人以上で検診にみえた方に、
 ささやかなプレゼントをご用意しています。

- ◇対象：既婚・未婚、新患・再来は問いません。
 症状の無い方の検診に限ります。女性の方のみ。
- ◇期間：平成27年5月1日～6月30日の間に受診された方。
 必ず2人以上、同日同時時間帯でご予約ください。
 「母の日キャンペーンで申し込む」とお伝えください。
- ◇検診内容：『自費による乳がん検診』となります。
 詳しい検診内容につきましてはご予約の際に
 お尋ねください。（医師の指定はできません。）

申し込み予約はお電話で

受付時間 9：00～17：00 Tel 092-522-5411

栄養科だより

おせち料理

2015年元旦、新しい年を迎え、
 今年一年の患者様の健康と幸せを
 を願っておせち料理を作りました。



二〇一五年元旦おせち料理
 紅白なます
 黒豆
 数の子
 つくねの味噌焼き
 海老しんじょ揚げ
 結び昆布
 きんかん
 千草焼
 がめ煮
 鰯の照り煮
 きんとん
 雑煮
 あんず寒



ミニぜんざい会

「寒い時にはあったかくて甘いぜんざいを食べて身も心も温まろう」というコンセプトのもと今年も
 3F談話室で「ぜんざい会」を開催しました。

どれくらいの患者様が来てくださるかとても不安でしたが、開始時刻になると予想以上にたくさん
 の患者様が来てくださり、会場は満席となりました。中には「ぜんざいが楽しみで一番に来ました」と
 いう方もおられ、ぜんざい会をして良かったと感じました。

初めは静かだったテーブルも同じ病気を抱えた患者様同士すぐに打ち解けられ、話にも花が咲いて
 いました。ぜんざいと昆布茶の評判も上々でおかわりしてくださる方もいらっしゃいました。

いつもは静かな談話室ですが、この日はいつもとは違う盛り上がりを見せ、
 スタッフが引き上げた後も長い間賑やかな話し声が聞こえていました。

後日、ぜんざい会で同席していた患者様同士が一緒にご飯を食べたり、おしゃべりしたりしているのをよく
 お見かけするようになりました。おやつの時間に気軽に
 に参加できるお茶会を今後も開催していきたいと思ひます。



第三十二回 乳癌の再発（8）再発・転移の予測と予後因子

顧問 野村雍夫

前回の免疫組織化学的サブタイプ分類をもう少し敷衍しますと、ルミナル乳癌はほとんどER陽性および/またはPgR陽性乳癌で構成され、ルミナルAサブタイプはHER2陰性が多いのに比べてルミナルBサブタイプはER陽性にもかかわらず、HER2が陽性のことが多く、増殖の活性が強く、早期の再発が多いと考えられます。したがって、ルミナルAサブタイプはホルモン療法に感受性が高く、ホルモン療法のみで術後補助療法で充分と考えられています（最近、このサブタイプには種々の亜型があり、化学療法が必要な場合があることが判明しました）。これに対して、ルミナルBはホルモン療法のみでは再発リスクを低下し難いとみなされているため、ホルモン療法と化学療法を併用することが必要です。

Erb-B2 (HER2) 過剰発現（非ルミナル）サブタイプとルミナルBライク（HER2陽性）サブタイプはHER2が陽性であることが特徴であり、元来は予後不良ですが、最近のトラスツズマブなどの抗HER2剤が非常に有効であり、化学療法とともに抗HER2剤を投与することにより、再発を抑制できます。

ベーサルライク乳癌はER関連遺伝子とHER2関連遺伝子の無（低）発現（ER陰性、PgR陰性、HER2陰性）が特徴であり、基底細胞サイトケラチン（CK5/14/17）が発現し、攻撃的な性格で、予後不良です。臨床的には、トリプルネガティブ乳癌と同じと考えてよいと考えられます。分子標的治療のターゲットとなる遺伝子が不明のため、化学療法の対象となります。どのような化学療法の組合せが最適であるかは探索中です。

このように、ご自分の乳癌がどのようなタイプであり、どのような治療が最適であるかを認識していただくことが大切です。

B) 多遺伝子検査による方法

この十数年間にわたり、遺伝子発現プロファイルにより乳癌の予後や治療の効果を上述の免疫組織化学的方法に比べて、より正確に予測しようとする研究が行われてきました。さらに、いくつかの研究所や商業施設により数種類の検査法が開発されており、予後判定と治療の効果の正確さを競っています。そのうちで、21遺伝子シグニチャー（オンコタイプDX）と70遺伝子シグニチャー（マンマプリント）の2つが著名です。PAM50の再発リスク（ROR）などもあります。

1) オンコタイプDX

オンコタイプDX（Oncotype DX）は腋窩リンパ節転移陰性でエストロゲンレセプター（ER）陽性の早期乳癌（臨床病期I期、II期）のホルマリン固定、パラフィン包埋の乳癌組織から16個の癌関連遺伝子と5個の参照遺伝子（合計21個）を抽出し、その発現の程度により再発スコア（RS）を決定します。このRSは0から100までの連続的な値となり、術後10年までの再発のリスクを予測すると主張されています。このRS値により、再発のリスクを低リスク群（RSが18未満）、中間リスク群（RSが18から30）、高リスク群（RSが31以上）の3群に分けます。低リスク群では再発のリスクは低く、術後の補助療法としてホルモン療法のみで、化学療法（抗癌剤）を加える利益は少ないと考えられます。中間リスク群では、化学療法の利益が副作用のリスクを超えられるかは不明です。高リスク群では、ホルモン療法のみでは不十分で、化学療法を加える利益が高いと考えられます。このように、ER陽性でリンパ節転移陰性の早期乳癌患者に対して、予後を予測すると共に、術後にホルモン療法に化学療法を加えるか否か決定する助けになります。